

自衛艦隊司令官講話等シリーズ（その4）

【自衛艦隊司令部職員に対する示達（2／3）】（15. 3. 28）

Ⅱ 「冷戦中と冷戦後との情勢比較」について

政治・経済体制とイデオロギーを異にする米ソ二大国を中心とした東西両陣営が軍事的に対峙する東西冷戦は終結した。すると、イデオロギーの大儀の下に抑え込まれてきた民族・宗教・領土に係る問題に起因する種々の対立が先鋭化し、複雑で多様な地域紛争が頻発するようになった。

(1) 予想される脅威の焦点変化

ア 冷戦中

切迫・特定・確実・意図的な軍事脅威に対し、戦時に、対処（侵略の排除）する。

イ 冷戦後

非切迫・不特定・不確実・非意図の安全保障的脅威に対し、有事に、対処・対応する。

(2) 期待される機能の焦点変化

ア 冷戦中

自衛隊の軍事機能をもって、有事に、防衛戦略・防衛政策だけで、我が国に対する戦争の抑止（侵略の未然防止）を図る。

イ 冷戦後

自衛隊の安全保障機能をもって、平時に、外交政策・経済政策とともに、我が国周辺に係る戦争の早期予防（地域の安定）を図る。

(3) 期待される任務の焦点変化

ア 冷戦中

① 侵略の阻止・排除

c f ; 被侵略国と侵略国との関係は、第3次世界大戦として単純明快な善対悪の構図である。そして死活的事態であるし明白な大儀もあるので、作戦実施にあたり、人・物・金の制約は要求されない。

② 治安維持の支援根拠

・イデオロギー対立による騒擾（そうじょう）～内乱に備えた「治安出動」
・防衛出動の前段階としての「海上における警備行動」

③ 民政安定に寄与

・災害救援
・不発弾処理
・その他協力

イ 冷戦後

① 侵略の阻止・排除

② 治安維持の支援根拠

- ・ 潜搬入した某国武装ゲリラに対処する「治安出動」
- ・ 領海侵犯の某国工作船に対処する「海上における警備行動」

③ 周辺事態等への対応

c f ; 各国の関係は、民族・宗教・領土に係る問題に関連して各々が主張する国益に基づく複雑怪奇な正義対正義の構図であるので、シビリアンコントロールが、より必要となり、ROE（部隊行動基準）の出番である。

そして、死活的事態でないので、作戦実施に当たり、人命尊重（味方・敵方の人的損害の局限）・環境保全（油類による海洋汚染や放射性物質による土壌汚染の防止）・経費削減の努力が要求される。

- ・ 在外邦人等の退避輸送
- ・ 船舶検査活動
- ・ 機雷除去
- ・ 後方地域搜索救助活動
- ・ 後方地域支援

④ 大規模災害への対応

- ・ 自然災害処理
- ・ 産業災害処理
- ・ テロ災害処理

⑤ より安定した安全保障環境の構築への貢献

- ・ 国際平和協力業務（PKO）、国際緊急援助活動
- ・ 安全保障対話、防衛交流

c f ; 「衣の下には国益に基づく自国の正義あり！」との冷徹な観察力及び信頼醸成～友好親善～同盟強化の段階で区別する応対力が要求される。

- ・ 軍備管理・軍縮分野における諸活動

c f ; 「軍縮とは弾丸を撃たない戦争なり！」くらいの国際的政軍関係の認識が必要となる。

参考；ジェイムズ・アダムス著『21世紀の戦争』日本経済新聞社

★1991. 1. 17～2. 28 湾岸戦争

米軍54万人のうち、死亡330人・負傷467人・捕虜6人

米軍戦争経費\$610億（うち日本の支援\$130億）

戦争の道義性・倫理性を満足させるため、Sanitary War（清潔な戦争；民間人等に付随的被害を与えずに精密誘導兵器等で軍事目標のみを破壊する戦争様式）が演出された。

★1993. 5. 4～10. 10 国連第二次ソマリア活動

米軍4500人のうち、死亡22人・負傷90人・捕虜1人

10月4日、米兵の遺体は裸にされ、首都モガディシオの通りをCNNカメラの前でアイディート派民兵によって引きずり回された。そして、そのテレビ映像が政策転換を起こさせた。つまり、テレビで米軍兵士の殉難を見た米国の政治家たちは、政策変更を余儀なくされる。わずか数日後、クリントン大統領は米軍のソマリアからの完全撤退を命じ、ソマリアのアイディート将軍逮捕のための任務は全て中止された。その後、ホワイトハウスで遺族へ勲章伝達が行われた。ある父親は勲章を伝達された後の大統領との握手を拒否し、息子の無駄死を強く抗議した。予期していなかった大統領は、つい作戦失敗の責任を軍部に転嫁しようとした。よって、米軍の指揮官達は、もはや将来の作戦では犠牲者を最小限に抑えられることが確実でなければ、実行可能とは考えなくなった。即ち、敵の心臓を銃剣で突く精神的物理的勇気を維持できないのではないかという潜在的弱点が誘発されたのである。

【自衛艦隊司令部職員に対する示達（2／3）】 終わり